

巡検 冠着山の地質を探る

～冠着山のできかた～



7月7日(土)

集合時間 午後 1時

集合場所 千曲市 坊城平いこいの森

案内者 赤羽貞幸(信州大学名誉教授)
塚原弘昭(同)

善光寺平の南端付近に座る冠着山(姨捨山)は、善光寺平のどこからもよく見えるので、多くの小中学校の校歌に登場します。右の断面図のように500万年以上前の火山の芯が、削り残されたものだとする説もありますが、現地の地質を見ながらこの山の成因について勉強しましょう。また、冠着山からのすばらしい眺望も体験できます。

現地巡検終了後、いこいの森の「あずまや」にて約30分間のまとめの会を予定しています。

持ち物——飲み物、雨具

参加費——200円(保険料、資料代ほか)

申込み不要、小雨決行

冠着山(姨捨山) 案内

標高 1252m、信州百名山、山頂に姫虫生息、注連帳石(しめはりいし)信仰、月読命、石尊大権現が祀られ地元六社が合祀、修験道場(戸隠山の前山)、冠着十三仏が復元、姨捨山の和歌多数・歌枕、姨捨伝説の山、謡曲「姨捨」(世阿弥の作)

